赤穂市女性交流センターだより

発行／赤穂市市民部市民対話課（☎43-6812・Fax43-6810）
女性交流センター（☎43-7800・Fax43-6810）

赤穂市女性交流センターQRコード

第27号　2024．3

女性交流センターでは、女性の様々な問題（悩み）に関する相談を実施しています。（場所：市民会館3階）

女性問題相談（電話または面接相談）・・・**毎週火曜日から金曜日**

午後1時から午後4時（祝日・年末年始除く）
※予約は必要ありません

女性問題専門相談（専門カウンセラー対応）・・・**毎月第4金曜日**

午後1時から午後4時（一人50分）
※面接相談で予約が必要です。託児をご希望の場合はご相談ください。

令和6年度　女性問題専門相談日　日程

4月26日	8月23日	12 月27日
5月24日	9月27日	1月24日
6月28日	10 月25日	2月28日
7月26日	11 月22日	3月28日

★ご予約は女性交流センター（TEL43－7800）
または市民対話課（TEL43－6812、FAX43－6810）まで。

女性が抱えるさまざまな悩みや問題を**女性の相談員**が女性の立場に立って受け止め、相談者自身が問題解決に向けての一歩を踏み出せるようサポートします。お気軽にご相談くださいね。

おすすめの貸出図書

小学校高学年以上向けにわかりやすく書かれた「SDGsシリーズ本」から2冊紹介します。

1冊目は、目標1“貧困をなくそう”**『みんなはアイスをなめている』（安田夏美・作）**です。小6の陸は学校から帰って来ると、家事や妹の面倒をみて夕食のおかずを買いに行く。母親が用意してくれるお金は一日 500 円。普段はそれでなんとかしてきたけれど、急に妹の歯科治療で 500 円かかってしまった・・・。途方に暮れて陸が「…貧乏ってどうしたらいいんだろうな」とつぶやいていたのが印象的でした。

2冊目は、目標5“ジェンダー平等を実現しよう”**『すし屋のすてきな春原さん』（戸森しるこ・作）**です。伝くんがお父さんと一緒におすし屋さんに行くと、店内には女性のすし職人さんが立っていました。伝くんは、学校で「すし職人になりたい」と言っていた海江田さんが同級生に「すし職人は男の仕事だから無理だ」と言われていたことを思い出しました。お父さんに「すし職人が男の人ばかりなのは何故だと思うか」と聞かれて、伝くんは答えに詰まってしまいました・・・。

どちらの物語の中にも問題点・現状・具体的な目標などが織り込まれていて、気づきや疑問がわいてきました。皆さんも、ぜひ手に取って読んでみてください。

上記を含め、女性交流センターには、男女共同参画等に関する図書・行政資料をそろえており、誰でも自由に閲覧や本の貸し出しもできる情報図書コーナーがあります。
また、活動や交流の場として利用できる会議室がありますので、ぜひご利用下さい。

やってみませんか？～音楽療法士さんに教えてもらった脳トレ～

左手はグーで前に出して・右手はパーで胸において
今度は反対に、 右手はグーで前に出して・左手はパーで胸に

この動きを ♫うさぎとかめ♪ の歌に合わせながら、手を交互にかえて行います。
♪もしもしかめよ かめさんよ・・・・歌いながらできましたか？

今度は、 前に出すのはパーで胸におくのはグー にします。

♫もしもしかめよ・・・ と歌に合わせながら、手をかえていきます。できていますか？
脳がパニック！そんな時は、ちょっと時間を置いてみるとできるかも。不思議ですね。

令和5年度のセンターだよりもお読みいただきありがとうございました。令和6年度もお楽しみに☆